

行仙宿補給路の架橋現場に追加工事

◇実施日 5月28日(水) 晴

◇参加者 梶野照雄 1名

行仙宿補給路の架橋現場で板を渡してみると中央部が少したわむことが判った。そこで中央に支柱を設けて安定させることにした。先日、表面の土を落とし、岩盤を露出させているので今日は岩に穴を開け、鉄筋を打ち込み、枠を組んで支柱の基礎となる部分を工事する。ハンマードリルや枠の材料などを積んで登りだす。終点の手前で一人の女性が補給路を降りてきた。白谷トンネルから登って笠捨山へ行ってきたそう。水場の話など、5分ほど会話する。



鉄筋を打ち込み



型枠を組み付ける



お昼前に架橋現場に着き、6カ所に穴を開けて鉄筋を打ち込み組付けた。

持ってきたおにぎりを現場で食べながら、合板で型枠を組み立てる。岩肌が直線ではないので何度も切ったり削ったりで、時間がかかった。余分な鉄筋を切って、枠は完成、道具を片付けて終点に降りた。



燃料2リッターを運ぶ

LEDランプを交換

終点でガソリンにエンジンオイルを混ぜ、1リッターの缶2本を作った。2本のガソリン缶を持って小屋に向かう。小屋に着くと一人の男性が食事の用意をしていた。深仙宿からだそうで、本宮まで歩くという。お湯を沸かしてカップ麺を食べる。点灯しなくなっていた玄関上とトイレの照明を取り換えた。高橋君のリクエストで、小屋床面の寸法を測った。午後4時半に小屋を後にした。宿泊の男性は寝袋に潜り込んでいた。玄関わきの温度計は15℃で、この時期としては気温が低い日だった。

(記：梶野)



宿泊者は1名



気温は15℃



下山

行動タイム

11:00 補給路登山口→11:23 コジマハウス→11:50 架橋現場14:
14→14:25 コジマハウス→15:00 行仙宿 16:22→16:50 補給路登
山口